

1995年8月10日第三種郵便物認可（毎週一回水曜発行）
2022年3月16日発行SSKS通巻第8437号 風の子便り

SSKS

風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう

2022年 3月号

去年の夏の暑い頃、工房のみんなで
せっせせっせとちぎり絵づくり。
切っては貼り、切っては貼りを
繰り返し、ようやくできた大作は、
おだいりさ〜まと♪
おひなさま〜♪
作品は裏表紙にて大々的に紹介!!



今月号の目次は裏表紙にあるよ



工房ぷらす

廣瀬 依生

今月は、会報折りと和紙作りだけのいつもの工房でした。
工房ぷらすの話ではないですが、先月から171災害伝言ダイヤルを練習しています。1日と15日は、災害伝言ダイヤル体験が出来る日です。工房のみんなと練習しています。固定電話しかできないと思いましたが、スマホでも対応していると聞き自分のスマホでやりました。とても便利！最初は、職員さんにやり方を教えてもらいながらやりました。だんだんやり方が分かって自分で練習が出来るようになって実際に出来るように練習を積み重ねています。



自分の声を録音したり聞いたり、職員さんに聞きながら練習をしています。

1月の《はなみずき》売り上げランキング

ストラップ [ツリー]・・・ 17個売れました。

最近ストラップの売り上げが伸びています。嬉しいです😊

手漉きハガキ [クマのシーソー] [無地] が、3枚ずつ売れました。数が少ないけど少しでも売れているので一安心です。たくさんもっと売れてほしいです。



風の便り

風の子の思い出

金子好守

この度、会報の編集担当の方からの依頼があったので寄稿した次第です。

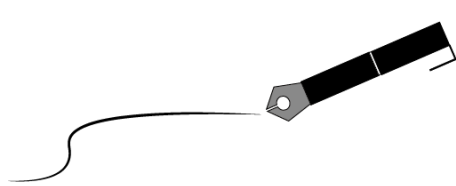
「誰や、こいつ？」って方がほとんどだろうから自己紹介からすると、平成17から19年までの2年間職員してました金子といいます。福祉的な仕事に就いたのは風の子が初めてで、働き始めた際、初詣の行事に圧倒されたことを憶えています。障館に集まってから、確か浅草に出かけるということで、メンバーの数の多さ、声の大きさ、杖を突いたりしながらも闊達に歩き、大きな笑顔の様に驚きました。当時は、カナルサイドの高浜実習所と戸板女子短大裏にあった芝実習所の二所体制で、私は芝の配属だったので、初詣で初めて全メンバーに会した訳です。

風の子のお陰で、Tokyoistが如何なるものか垣間見れました。メンバーのほとんどの方は港区民ですからね。送迎で通った麻布十番や青山通り、至る所で「俺はそこで働いていたぜ」、って感じで自慢してます。



2005羽田空港にて

私が知らないメンバーが増えました。いいことです。風の子会が進化している証です。メンバーと職員が買い物に出かける企画など楽しそうですね。これからも手を伸ばして新しい分野を拡げてみてください。期待してます。



夕会報告

報告者 小熊健

1月2回目

1月22日に予定されていた2回目の夕会は島田君が欠席のため2月に改めて行なわれることになった。

日時：2月5日 13時30分－14時30分
司会：島田 補助職員：小林 書記：岡本

議題①：2月の外出をどうするかについて議論する。
予想通り全員一致で中止することになった。感染者が全国で10万人、都内で1万人を超える状況を考慮すれば当然の結果か。

議題②：田中さんから、今年は、外に出よう、をやらないのか、ロータリークラブの人からは是非参加したいとの希望がでていますが、皆さんはどう思うか、話し合ってもらいたいと提案があり議論する。提案者の意図が分からないので留保するという小野塚さんの発言もあったが、やりたいという人が10人、中止にすべきという人が8人と拮抗する結果になった。最終的に井出さんが提案した、その時の状況次第で中止にすることも考慮して、行う方向で計画を立てる。ということで、次回の夕会で改めて話し合うことになった。

2月1回目

日時：2月19日 13時30分－14時30分
司会：小野塚 補助職員：木村 書記：小林

議題：「外に出よう」についてどう進めるか話し合う。
最初に司会者から「外に出よう」の意義、所長から概要について簡単な説明があった。まず先に実行委員を決めるか後から決めるかが話し合われ、先に決めることに決まった。投票の結果メンバーは、柳川、廣瀬、職員は、小林、平沼に決定した。

2月2回目

日時：2月26日 13時30分～15時00分

司会：小野塚 補助職員：木村 書記：平沼

- 議題：**①3月以降の司会を決定する。
②3月の散歩をどうするか。
③「外に出よう」実行委員より、候補地、予備日、移動手段など決めたい。
④区民祭りの担当決め。

- ①については話し合いの結果、3月は、掛橋一平沼、4月は、田中一石黒・古池、5月は、小熊一木村に決定した。
②については、散歩地を2～30分の所にし、感染対策を徹底すれば出来るのではいかとの意見もあったが、挙手の結果17対2で中止する事になった。
③については、気候条件、コロナの感染状況、区民祭りの妨げにならないなどの条件を考慮した結果、10月29日、11月5日、11月12日に絞られた。
④については、岡本所長より簡単な概要が説明され、担当は改めて選考する事になった。



2月19日、夕会の様子。



活動報告

2月1日から2月28日まで

メンバー 島田龍司

2月4日 KYB 労働組合の方が来ました。そこで寄付を頂きました。そのお金で介助用の毎日使っているゴム手袋1年分購入しました。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

企画会議をしました。議題は2月号のカラー化について話し合いました。そこで企画のメンバーに順番ずつ意見を聞いていきました。聞いた結果、初めての試みで追悼記事をカラー化にする事が決まりました。

ワクチン接種3回目をメンバーと職員が受けました。

ありがとうございました。



信高さんは注射した後、家で安静にしていました。



風の子・なつかしのアルバム



この写真は平成4年頃の「自主活動」の写真です。職員が夏休みの時、通所している障害者が家に閉じ込めきりになってしまいます。そこで「自主活動」と言って、毎年の夏休みの中ごろに、職員は休ませて代わりにボランティアと集まって活動しました。そのうちに「まわりに自慢できるような思い出をつくりたい」という意見につられ

て、「だったら箱根かな」となり、夏休みの恒例行事になりました。日帰りですから、箱根にはほんのちょっと1時間足らずしかいられませんでした。・・・箱根神社、駒ヶ岳ロープウェイ、一昨年は海賊船。去年は大涌谷ロープウェイ。今年はモーターボート・・・毎年ひとつずつのぜいたくをしていました。「いつかは、箱根の達人になるぞ!」と。

週1回例会のサークルアラクサが設立したのは昭和53年、それから2年後、「風の子会」と名称を変更し、三田の障害者福祉会館で（週2回水・土）活動を行っていました。昭和58年には行き場がない養護学校卒業生も受け止めて毎日集まれる場所をつく



ろうと、東麻布に10坪の賃貸事務所を借りて「虹の子実習所」を開設しました。そして、発足から15年の平成5年に、ようやく港区から公的な建物「カナルサイド高浜」の3階に部屋を提供してもらうことができました。「風の子会 高浜生活実習所」のはじまりです。写真は、実習所で開いた「15周年祝賀会兼実習所開所式」の写真です。

yuki



☆ 風の子水先案内 ☆

～ 2022年2月の出来事 ～

・第3回ワクチン巡回接種

→2月22日、実習所内にて第3回ワクチン施設巡回接種が行われた。今回のこのブースター接種により、コロナへの防御態勢がまた少し強くなった。ただそれでもブレークスルー感染の危険性はあるので、手洗いうがい、マスクやアルコール消毒等の感染予防、そして作業所の室内換気は今後も徹底していかなければならない。

(余談だが今回も副反応はひどかった。熱は38度6分、重い倦怠感、加えて今回は

接種部位の筋肉痛が激しかった。今後もワクチン接種のたびにこんなにつらい思いをするのかと考えると、気が重くなる…)

痛そ～な柳川君



・職員PCR検査について

→風の子会の安心と安全を担保するため毎週実施されている職員のPCR検査だが、これまでは火曜に採取した検体結果が判明するのが木曜と、期間が少しかかってしまっていた。風の子会で発熱者が出た際に迅速な対応ができるよう、PCRの結果はなるべく早くわかった方が良いので、火曜日中に検査結果がわかるように体制を変更した。

・外に出よう復活(できたらいいね)

→コロナパンデミックにより2020年から中止が続いていた外に出ようを今年は開催しようというムーブメントが夕会で湧き上がった。外に出ようは風の子が毎年必死に取り組んできたイベントで、本当に開催が実現できたら間違いなく盛り上がるだろう。コロナパンデミックが再燃した場合は中止することを覚悟して、実行委員を立ち上げ、彼らを中心に外に出よう実現に向けて少しずつ企画を進めていく。



・散歩はいつになるのやら…

→1月に引き続き2月の散歩も中止となった。加えて今年の冬は例年になく寒いので、外出企画もなかなか難しい。春が来て、オミクロンが落ち着き、3回目ワクチン接種が全国に普及し始める頃が、散歩復活の兆しなのかもしれない。

※2月の運営委員会は全国コロナ感染拡大による
感染リスク回避のため中止になりました

文責 運営委員・小野塚



☆ ひとり言 ☆

～ メンバー、職員が日々の生活で思ったことを語るコーナー ～

10年後に平成ビルでの思い出は何かと聞かれたら、間違いなくこう答えるだろう。「寒かった！」と。

メンバー 小野塚航

早くマスクなしの生活がくればいいのに。

メンバー 掛橋竜也

北京冬季オリンピックが終わり、日本人の活躍が印象となり、パラリンピックでの活躍を期待してしまいますが、ロシアがウクライナに軍事侵攻をしているので、パラリンピックが無事に閉幕するか心配です。

メンバー 田中聡

全てが氷る闇となれ 心が温まる前に 荒んだ想いになっても この世が氷り尽きたら 哀しく沈んだその時も 想いが暗くなってゆく いつまで続くか とりとめの無い気持ちでも いつかは春が来る 皆の心が晴れていく 淡い心を描いてる 冬から春へ替わる時

メンバー 信高正義

ウイズコロナ？ いえいえ ノーコロナ

メンバー 三木直人

行事の担当になりました！！

職員 平沼実華



「敬事の料理コーナー」

「イワシの蒲焼のひつまご飯。」

- ①茶碗にご飯を入れる。
- ②その上に缶詰のイワシの蒲焼とワサビをのせる。
- ③その上にお湯をかける。
- ④出来上がり。

メンバー 柳川敬事





賛助会(寄付)・物品寄付のお礼

賛助会(寄付)ありがとうございます。(2月6日～3月4日)(順不同)

小野田 和子様 長野 松男様

●昨年5月号で賛助会の募集を行いました、皆様からのたくさんのご寄付ありがとうございます。これまでに集まった賛助会ご寄付は以下の通りです。引き続き募集しています。よろしくお願いいたします。

賛助会実績（3月4日現在）101名 6,962,585円



所長のため息

暖かい春の日差しが心地よい季節となってきました。今までコロナ対策として寒い日でも窓を開けて活動をしてきましたが、暖かくなってきたので窓を開けても楽になってきました（その代わりに、花粉が飛んでくる季節になってくるので、それはそれでつらいのですが...）。

オミクロン株の影響で今は外出を控えています。しかし、夕会で話し合い、コロナの影響で中止になる可能性もありますが、風の子の一大イベントである「外に出よう」を開催しようということになりました。時期は10月末から11月初めを予定しております。その頃にはコロナも収まり、ボランティアの皆さんと楽しく外に出ようが行なわれるのを願っています。

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

企画編集メンバー

太田 稔	信高 正義
小熊 健	広瀬 依生
小野塚 航	三木 直人
島田 龍司	柳川 敬事
田中 聡	幸 高史

表紙デザイン：小野塚 航

編集人：【高浜生活実習所】生活介護
〒105-0022

東京都港区海岸2-6-29 平成海岸ビル5階

TEL 03(6809)4001

FAX 03(6809)4002

HP：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

e-mail：kazenoko@kazenokokai.or.jp

発行人：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17

ヴェルドゥーラ祖師谷102



ギャラリー 風の子

お内裏様と お雛様



この作品は工房のみんなで作りあげるのに
4ヶ月かかりました。

お内裏様お雛様の着物の色は皆で話し合
い、下絵の上から色紙を貼り付け、隙間が
出来ないように気をつけて作成しました。

工房メンバー 掛橋



今月の目次	
工房ぶらす	2
風の便り(金子好守)	3
夕会報告①	4
夕会報告②	5
活動報告	6
懐かしのアルバム	7
風の子水先案内①	8
風の子水先案内②	9
ひとり言・敬事の料理コーナー	10
賛助会・所長のため息	11
ギャラリー風の子	12